

(様式2)

令和 5 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570600369		
法人名	社会福祉法人いじみの福祉会		
事業所名	グループホーム陽だまり苑(2ユニット共通)		
所在地	新潟県新発田市岡田1746番地1		
自己評価作成日	令和5年10月4日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhou_detail_022_kani=true&jkyosyoCd=1570600369-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年11月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・木造平屋造りで広く、自由に動ける空間を有し、車椅子でも自立して生活が送られています。また、当敷地内には特養が併設されており、心身状態が低下しても、支援体制が整っているため、利用者や家族の安心に繋がっています。

・地元で採れた野菜を中心に、同法人管理栄養士監修のもと、馴染みの郷土料理を3食暖かい状態で提供しています。個々の疾病、体調、嚥下状態等に鑑み食事担当がその日の状態に合わせて調整を行います。

・昨今のコロナ禍、ご家族のご協力のもと、窓越し面会や登録者専用Web面会、お手紙やお電話等にて絆の支援を行っています。生活に潤いがもたらせるよう感染対策を行いドライブや外出行事、職員創作による豪華弁当、昔話をアレンジした喜劇の発表、音楽の生演奏を積極的に取り入れています。

・利用者が快適かつ安全に日常生活が送れるよう、日々環境整備に取り組んでいます。

・感染症の時期には、勉強会を開いて、シミュレーションを行い対応を学んだり、日常業務の中でも利用者が触る手摺、椅子の肘掛、トイレの便座など、毎日消毒用エタノールで拭き、また、利用者や家族、来苑者には、外出時や来苑時にマスクの着用や手洗いうがいを行って頂き、感染予防に理解と協力を頂いています。

・住み慣れた地域での里山の自然を感じて頂けるよう、過ごしやすい時間帯は施設の周りを職員付き添いで散歩して頂いております。(車椅子対応も可能)

・週に一度、ご近所訪問による訪問看護を実施し、健康状態のチェックや24時間体調を相談することができ、利用者や家族の安心に繋がっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○恵まれた自然環境とゆったりと暮らせる心地よい住環境
「グループホーム陽だまり苑」は、新発田市郊外の自然豊かな地域に立地しており、周囲には季節の移り変わりを感じる山並みと、高く広がる空を眺めることができる穏やかな環境にある。木造平屋建て造りの室内は、梁の見える天井が高く、すべての部屋の天窗から入る日差しが心地良い開放感のあるゆったりとした室内の造りとなっている。利用者が過ごす部屋やリビング、浴室には床暖房が設置され、寒い季節には足元から心地良い温かさが部屋全体に広がる。各部屋の玄関は廊下から直接見えないプライベートスペースが確保され、暮らしにゆとりを演出したものになっている。季節の装飾が施されたアットホームな環境のなかで、利用者は心地よく穏やかに過ごしている。

○利用者の健康管理に関する支援体制

事業所の敷地内には特別養護老人ホームとデイサービス等の施設が併設されており、各種委員会や研修、訓練等、様々な場面で協力・連携が図られている。医療面では日常の健康管理や緊急時に特別養護老人ホームの看護師の協力や、管理栄養士による献立のチェックなど栄養管理が行われるなど、支援体制が充実している。また、訪問看護ステーションと契約し24時間何時でも連絡・相談できる体制になっている。また、事業所では終末期の対応は行っていないものの、併設の特別養護老人ホーム等へのスムーズな「住み替え」を支援するなど、利用者・家族の安心に繋がっている。

○楽しみと潤いある暮らしに向けた取り組み

事業所内にある畑で採れた野菜を使い食事を作る事で楽しい会話が生まれ、ラーメン屋台が出現してくれたり、寿司をテイクアウトしたり、食事が楽しめる工夫が充実している。毎年6月に行われる火渡り神事への参加や、子育て蔵尊の祭りに合わせた煤払いや草取りなど、地域行事の参加にも積極的に取り組んでいる。また、川東文化交流展に作品を出展する事などが、利用者の楽しみや張り合いとなっており、作品見学を通して地域との交流も深められるなど、利用者個々の楽しみと潤いのある暮らしに向けチームで取り組んでいる。